

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



国見町郷土史研究会大枝方部研修会～西大枝・川内歴史散歩～

国見町郷土史研究会と国見町歴史まちづくりフォーラム共催の国見町郷土史研究会大枝方部研修会～西大枝・川内歴史散歩～が11月15日、国見東部高齢者等活性化センターで行われ、45名が参加しました。

研修会の前半は、体育館で郷土史研究会の笠松金次さんによる王壇古墳や仲與寺本尊観音菩薩像の解説のほか、竹ノ内遺跡出土の遺物の展示解説が行われました。後半は歴史散歩としてフィールドワークを実施しました。希望者が2班に分かれて西松寺観音堂や仲與寺本尊観音菩薩像などを訪ね、地域の歴史について学びました。

新型コロナウイルス感染症が騒がれる昨今ですが、今後も感染予防をしっかりと行いながら、研修会を開催していきたいと思っておりますので、みなさんの参加をお待ちしています。



1 笠松さんによる解説 2 竹ノ内遺跡出土遺物の展示を見る参加者 3 晴天の中を歴史さんぽ 4 西松寺観音堂の見学 5 仲與寺の見学

歴史まちインフォメーション

令和2年度あつかし歴史館

『町民講座が開講中』

第3回あつかし歴史館町民講座「菊池利雄先生の研究・資料を楽しく読む会」が11月18日、あつかし歴史館で「奥州合戦と阿津賀志山の戦い」をテーマに行われました。

町民講座は全6回の開催予定で、第4回は12月23日に「伊達氏家臣山崎氏と山崎城」をテーマに開催されます。興味のあるテーマだけでも参加は可能です。みなさんの参加をお待ちしています。

第4回講座
「伊達氏家臣山崎氏と山崎城」

開催日時
12月23日(木) 午前10時～午前11時30分

定員
15名程度
※電話予約制(あつかし歴史館 ☎ 585-4520)

『くにみ歴史本～国見町の歴史、文化を探る～』

希望者に配布しています

国見町を広く長く伝えるために作成した冊子『くにみ歴史本』を希望者へ配布しています。

これは町の歴史や阿津賀志山防塁をはじめとした文化遺産、伝統芸能の成り立ちなど、町が誇るたからものを一冊の本にまとめたものです。

町をもっと知りたい方、紹介したい方はぜひ一度ご覧ください。



■配布場所

あつかし歴史館(大木戸字霞原3番地)
※配布部数がなくなり次第終了となります。

国見の輝き人 ～国見町で活躍する人を紹介～ vol.12

今回は令和2年度第69回福島県文化功労賞(芸術部門)を受賞した鈴木重男さんにインタビューをしました。

鈴木さんは町内で写真店を経営する傍ら、写真家として活動し、多くのコンテストへの出品や雑誌に投稿し、複数のコンテストで全国1位に輝きました。また、昭和45年に県写真連盟の発足に尽力。会長を8年間勤め、公募展を催すなど会員の技術力向上に貢献。発足から50年を経て、当初60人程度だった会員は約280人まで増え、自身が会長時代に掲げた「300人」の目標が目前に迫っての受賞となりました。



鈴木重男さん (宮町北)

ー今回の受賞についてー

写真界から初めての受賞で、写真がようやく芸術の仲間入りをしたと感じました。これまで支えてくれた人たちに感謝しています。今回の受賞が、がんばっている後輩たちの励みになってほしいです。

ー今までの活動を振り返ってー

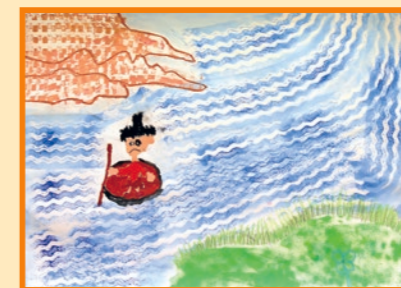
17歳の時に趣味の山登りで、借りたカメラで山の風景を撮影したのがきっかけでカメラに夢中になりました。20代の頃には、写真文化の向上を目的に県内の写真愛好家を集めて写真連盟を設立しましたが、第1回の写真展覧会を開催した時は会場やスポンサー探しなどゼロからのスタートであり、会員みんなと夜遅くまで準備したことはいい思い出です。50年前は写真が芸術として認識されていなかったため、自分たちで福島県写真展を開催するなど写真芸術向上のために仲間と汗を流しました。

ー今後の抱負を教えてくださいー

何歳になっても写真が好きなのでやめられないです。日常の風景でも切り取り方によって個性的な写真になり、毎回違った写真が撮れることにワクワクします。元気なうちはいい写真を撮り続けていきたいと思っています。



制野 亘留 (3年生)



大沼 翔 (4年生)



佐久間 こはる (4年生)

国見小学校



渡辺 陽 (3年生)

小さな天才たち